

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第 1 0 4 回)

2 0 2 2 年 10 月 ～ 12 月 期 実 績

2 0 2 3 年 1 月 ～ 3 月 期 見 通 し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町 3 - 6

TEL 0 2 7 6 (4 5) 2 1 2 1

FAX 0 2 7 6 (4 5) 1 0 8 8

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
全体D I 値について・・・・・・・・	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 (中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観)	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2022年12月
- ② 調査対象期間 今期（2022年10月～12月期）に対する前期（2022年7月～9月期）及び前年同期（2021年10月～12月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	212	78.5 (%)
輸送機器	40	→	34	85.0 (%)
その他製造	40	→	38	95.0 (%)
建設業	50	→	41	82.0 (%)
卸売業	30	→	20	66.7 (%)
小売業	40	→	29	72.5 (%)
サービス業	70	→	50	71.4 (%)

5. D I 値について

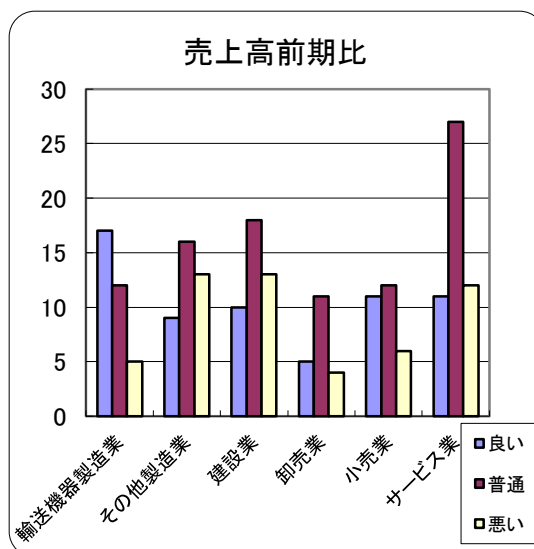
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

（例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。）

(1)設問に対する業種別回答

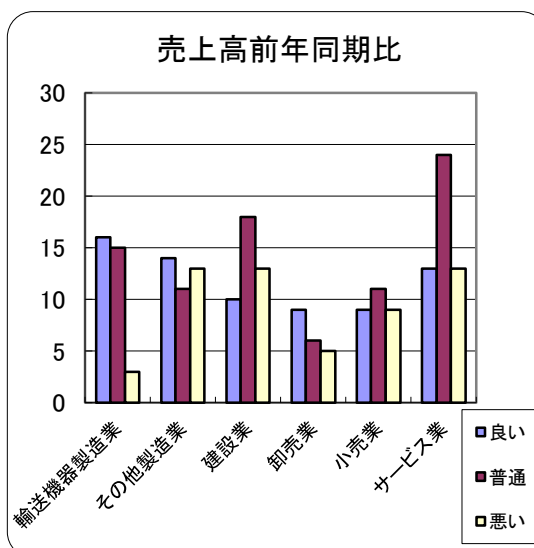
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	17	12	5	34	35.3
その他製造業	9	16	13	38	▲ 10.5
建設業	10	18	13	41	▲ 7.3
卸売業	5	11	4	20	5.0
小売業	11	12	6	29	17.2
サービス業	11	27	12	50	▲ 2.0
合計	63	96	53	212	4.7



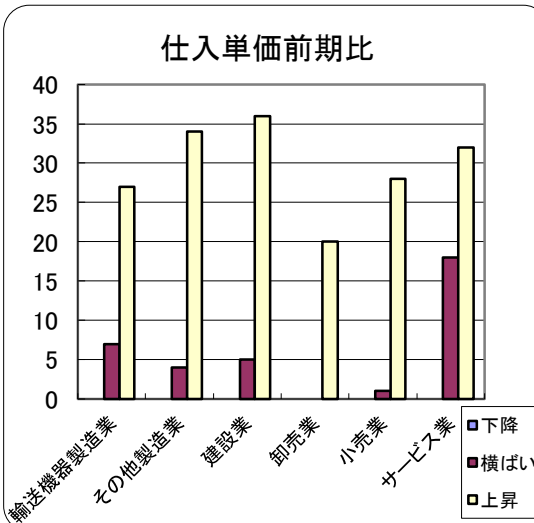
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	16	15	3	34	38.2
その他製造業	14	11	13	38	2.6
建設業	10	18	13	41	▲ 7.3
卸売業	9	6	5	20	20.0
小売業	9	11	9	29	0.0
サービス業	13	24	13	50	0.0
合計	71	85	56	212	7.1



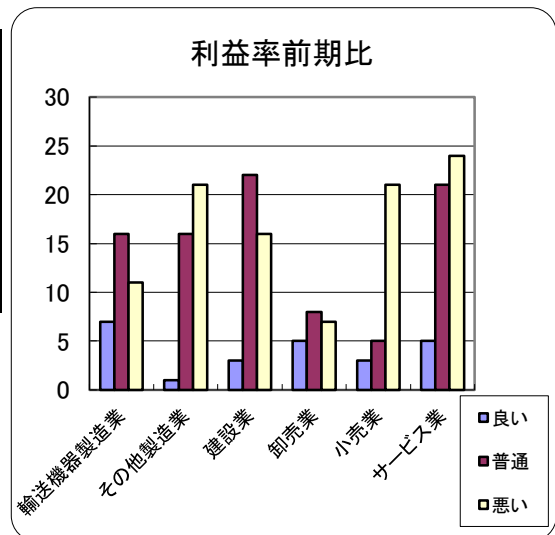
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	7	27	34	▲ 79.4
その他製造業	0	4	34	38	▲ 89.5
建設業	0	5	36	41	▲ 87.8
卸売業	0	0	20	20	▲ 100.0
小売業	0	1	28	29	▲ 96.6
サービス業	0	18	32	50	▲ 64.0
合計	0	35	177	212	▲ 83.5



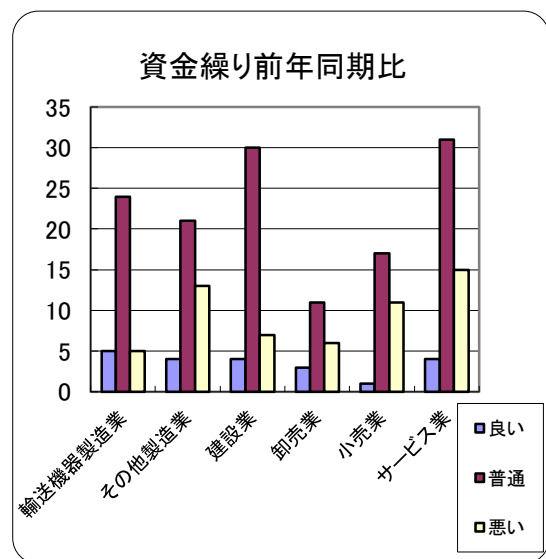
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	16	11	34	▲ 11.8
その他製造業	1	16	21	38	▲ 52.6
建設業	3	22	16	41	▲ 31.7
卸売業	5	8	7	20	▲ 10.0
小売業	3	5	21	29	▲ 62.1
サービス業	5	21	24	50	▲ 38.0
合計	24	88	100	212	▲ 35.9



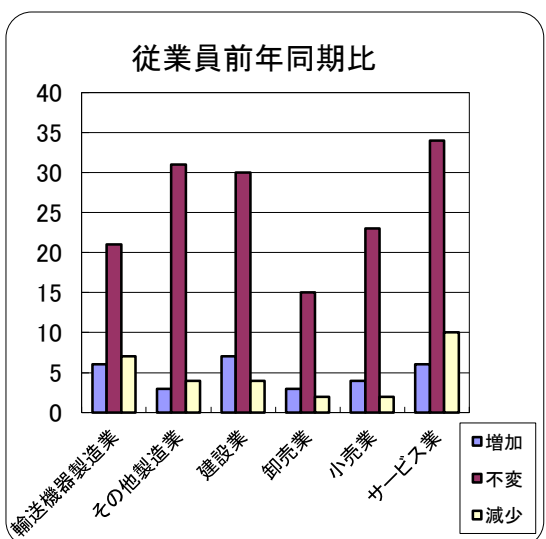
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	24	5	34	0.0
その他製造業	4	21	13	38	▲ 23.7
建設業	4	30	7	41	▲ 7.3
卸売業	3	11	6	20	▲ 15.0
小売業	1	17	11	29	▲ 34.5
サービス業	4	31	15	50	▲ 22.0
合計	21	134	57	212	▲ 17.0



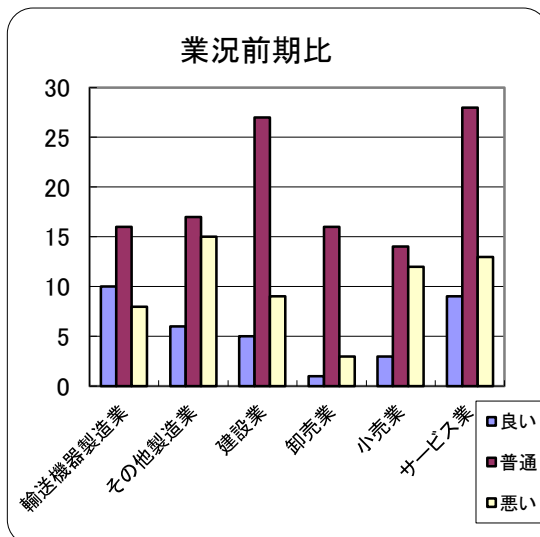
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	6	21	7	34	▲ 2.9
その他製造業	3	31	4	38	▲ 2.6
建設業	7	30	4	41	7.3
卸売業	3	15	2	20	5.0
小売業	4	23	2	29	6.9
サービス業	6	34	10	50	▲ 8.0
合計	29	154	29	212	0.0



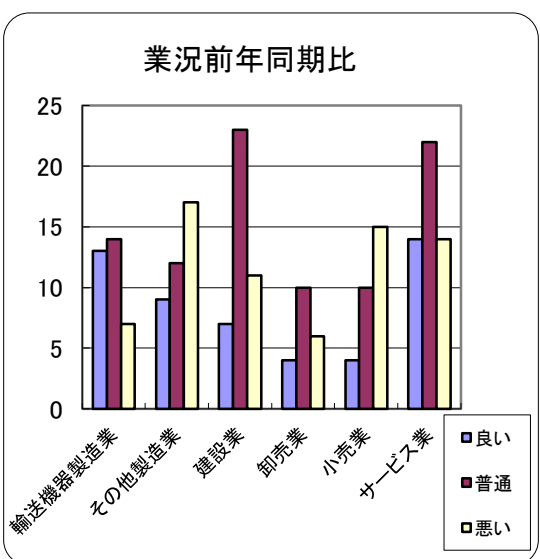
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	10	16	8	34	5.9
その他製造業	6	17	15	38	▲ 23.7
建設業	5	27	9	41	▲ 9.8
卸売業	1	16	3	20	▲ 10.0
小売業	3	14	12	29	▲ 31.0
サービス業	9	28	13	50	▲ 8.0
合計	34	118	60	212	▲ 12.3



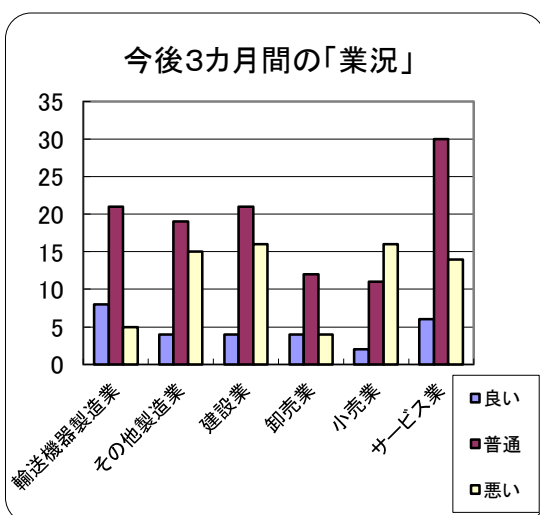
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	13	14	7	34	17.7
その他製造業	9	12	17	38	▲ 21.1
建設業	7	23	11	41	▲ 9.8
卸売業	4	10	6	20	▲ 10.0
小売業	4	10	15	29	▲ 37.9
サービス業	14	22	14	50	0.0
合計	51	91	70	212	▲ 9.0



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	21	5	34	8.8
その他製造業	4	19	15	38	▲ 28.9
建設業	4	21	16	41	▲ 29.3
卸売業	4	12	4	20	0.0
小売業	2	11	16	29	▲ 48.3
サービス業	6	30	14	50	▲ 16.0
合計	28	114	70	212	▲ 19.8



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	6.5	35.3	28.8
売上高前年同期比	0.0	38.2	38.2
仕入単価前期比	▲ 83.9	▲ 79.4	4.5
利益率前期比	▲ 41.9	▲ 11.8	30.1
資金繰り前年同期比	▲ 6.5	0.0	6.5
従業員前年同期比	▲ 25.8	▲ 2.9	22.9
業況前期比	▲ 9.7	5.9	15.6
業況前年同期比	▲ 22.6	17.7	40.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 9.7	8.8	18.5

[企業コメントより]

・コロナの為生産が減少しています【制動装置部品】

・物は流れ始めているが、良くてコロナ前の80～90％程度。素材費や電力ガス代等が値上がりして利益を圧迫している。非常に厳しいのは変わらない【金属パイプ】

・部品流通に安定の兆しが出ている。ただ 中国のコロナ蔓延が不安要素です【内装部品】

・事業縮小中です【内装部品】

・自動車産業は前年同様、部品不足により減産が続いています。2024年度には回復しそうです【樹脂加工】

その他製造業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 8.1	▲ 10.5	▲ 2.4
売上高前年同期比	2.7	2.6	▲ 0.1
仕入単価前期比	▲ 94.6	▲ 89.5	5.1
利益率前期比	▲ 48.6	▲ 52.6	▲ 4.0
資金繰り前年同期比	▲ 18.9	▲ 23.7	▲ 4.8
従業員前年同期比	2.7	▲ 2.6	▲ 5.3
業況前期比	▲ 16.2	▲ 23.7	▲ 7.5
業況前年同期比	▲ 13.5	▲ 21.1	▲ 7.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 5.4	▲ 28.9	▲ 23.5

[企業コメントより]

・前期に比べて良いのは、ニットの最盛期に入ったためである。また円安のため日本製に割安感が出てきたためと思われる。しかし依然、コロナによる景気低迷は続いている【ニット製品】

・新製品の発売遅れにより景況があまり良くないが、新製品の発売が始まれば遅れは取り戻せそうです【電気製品】

・原材料の値上げ及びエネルギー資源の物価上昇が業績に影響している【板金加工】

・トヨタ系の引合が増えた【省力化機械】

・円安から円高への風潮がみられるなかで、継続的に仕入価格が上昇しており、3回目の値上げの案内をしているところ【食品製造】

・孫請けなので、(受注相手である)下請け自体に仕事がない状態のため、ここ数年かなり厳しい。下請け企業が孫請け企業へ仕事がないか尋ねているような状況。プラスチック材料は相変わらず品薄・欠品が続いていて、来年春までは続く見通し。

価格も上昇。一方、アルミは12月から少しだけ下がるとのこと。プラスチック加工の仕事も、材料の入手が困難だと、なかなか受けづらい。材料費を上げると見積もりが決まらない。まずは材料の安定した供給ができないと状況が変わらない気がする【プラスチック加工】

・物価の高騰【パレット製造】

- ・中国のロックダウンや世界的なインフレにより、スマホ・PCなどの需要が急減している。半導体の在庫が積み上がり、半導体製造装置の設備投資が急ブレーキとなっている。来年(2023年)も景気減速懸念が高まっていて、厳しい状況が予測される【金属製品製造】

建設業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 7.0	▲ 7.3	▲ 0.3
売上高前年同期比	▲ 7.0	▲ 7.3	▲ 0.3
仕入単価前期比	▲ 88.4	▲ 87.8	0.6
利益率前期比	▲ 39.5	▲ 31.7	7.8
資金繰り前年同期比	▲ 14.0	▲ 7.3	6.7
従業員前年同期比	2.3	7.3	5.0
業況前期比	▲ 25.6	▲ 9.8	15.8
業況前年同期比	▲ 34.9	▲ 9.8	25.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 34.9	▲ 29.3	5.6

[企業コメントより]

- ・慢性的な人手不足の為、仕事はあるが売上げは減っている感じです。仕入単価は急激に上昇しています【空調工事】
- ・仕入単価はかなり上がっている。毎回FAXの連絡は値上げばかり！【建設付帯工事】

卸売業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 9.1	5.0	14.1
売上高前年同期比	▲ 4.6	20.0	24.6
仕入単価前期比	▲ 86.4	▲ 100.0	▲ 13.6
利益率前期比	▲ 40.9	▲ 10.0	30.9
資金繰り前年同期比	▲ 13.6	▲ 15.0	▲ 1.4
従業員前年同期比	9.1	5.0	▲ 4.1
業況前期比	▲ 13.6	▲ 10.0	3.6
業況前年同期比	▲ 27.3	▲ 10.0	17.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 18.2	0.0	18.2

[企業コメントより]

- ・仕入れの単価が上昇しているが、9割は弊社ユーザーに対してスムーズに切り替えができています。それは営業マンのスキルが向上した結果だと思います【医療器卸】
- ・仕入単価の高騰、品切れ大【事務機器卸】
- ・令和4年10月より各酒類・食品メーカーの値上げに付き、9月は仮需増加により売上増加だが、10月、11月は裏返しにて売上減少傾向にあり。今後も各社値上予定にあり、今後の消費動向に備える【飲料卸】

小売業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 35.3	17.2	52.5
売上高前年同期比	▲ 38.2	0.0	38.2
仕入単価前期比	▲ 73.5	▲ 96.6	▲ 23.1
利益率前期比	▲ 41.2	▲ 62.1	▲ 20.9
資金繰り前年同期比	▲ 38.2	▲ 34.5	3.7
従業員前年同期比	▲ 5.9	6.9	12.8
業況前期比	▲ 52.9	▲ 31.0	21.9
業況前年同期比	▲ 50.0	▲ 37.9	12.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 53.0	▲ 48.3	4.7

[企業コメントより]

- ・材料費の高騰が大きく影響しています【菓子製造販売】
- ・弊社は小売業のため、消費者の動きの活発化にともない、売上は回復傾向にあります。仕入単価、販売管理費の上昇が顕著になって経費増加が利益を圧迫しています。今後コロナ対策での借入金の返済が始まると更なる苦境が想像されます【化粧品店】
- ・繁忙期が冬の為、前期との比較では売上は増加。一方で端境期に行った販路開拓が功を奏し、取引先の増加から昨年に比べても売上げは上がっている【衣料品販売】
- ・仕入単価の上昇が止まらない【食肉加工品販売】
- ・お歳暮用品のお客様はいつも通りですが単価は同じくらい、贈り先件数は減少。
- ・業務店(飲食店)様・宴会主体の店は良くなく、個人客・家族客の多い店は客数戻りつつありますが、客単価は良くない【飲料小売】
- ・売価は上昇しても値段をあげづらい。OTACO取扱店ですが、それほど利用がない【飲料小売】
- ・商品の値上げをしたがお客様の来店数や購買数は変わらなかったため売上は確保できたが、原材料、光熱費、人件費の上昇の方が値上げ幅より大きい為、利益率は悪化している【食品製造販売】
- ・仕入単価上昇するが、価格転嫁進まず。流通経費、光熱費の上昇も利益率低下の原因【食糧・雑貨販売】
- ・取引先の条件の厳しさ。その分を価格に上乗せすることはできない。その上、お客様へのサービスは更に増している【化粧品販売】
- ・仕入価格が高騰していて年明け以降は厳しくなるかも【嗜好品販売】

サービス業	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	0.0	▲ 2.0	▲ 2.0
売上高前年同期比	2.0	0.0	▲ 2.0
仕入単価前期比	▲ 74.5	▲ 64.0	10.5
利益率前期比	▲ 45.1	▲ 38.0	7.1
資金繰り前年同期比	▲ 21.6	▲ 22.0	▲ 0.4
従業員前年同期比	▲ 9.8	▲ 8.0	1.8
業況前期比	▲ 17.6	▲ 8.0	9.6
業況前年同期比	▲ 27.5	0.0	27.5
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 23.5	▲ 16.0	7.5

[企業コメントより]

- ・社内体制の変更による合理化【情報】。
- ・完成車メーカーの生産も10月より、ようやく復調のきざしが見えてきた【運輸】
- ・そろそろ3年も経ったので、新型コロナの扱いを第二類から第五類に引き下げる必要があると思います。地域経済が益々ダメージを受けることになります【レストラン他】
- ・コロナ以前の客足に戻るのには難しく、夜は本当に早い時間で客足は終わってしまっています。仕入単価は上がるばかりで大変です【レストラン】

- 10月に限れば、太田市デジタル金券が始まり売上は増大しました。コロナ前の売上以上だった。またデジタル金券の割合が10月の売上の26%までになりました。プレミアム分が後押ししていると推測しました。なお、その反動で11月は低迷しました。
- 12月は家族客を中心にご予約を頂いている。また企業様の忘年会の予約も前年よりは増えてはいます。(数えるくらいですが)。原材料価格、人件費の上昇に伴い、販売価格値上げのタイミングを見ています。**【レストラン】**
- 原材料の高騰により、売上げは多少増加しているが、それ以上に原材料の価格が上昇して利益を圧迫している**【食品製造販売】**
- 原材料の値上げ、欠品が多い。油・牛肉・特殊加工品等、入荷出来ないものがあります。(ヨーロッパ関係の輸入品)
- 業界活性化を期待して、宴会、集まりの受注を拡大したいものです**【飲食サービス】**
- 例年より、年末調整生産、年度末調整生産に入っている業界企業もあるため、今期下期より上がってくる予定だったが景気は上がりず苦しい状況に立たされている。それに付け加えて経費費用は上がり、政府が言う賃上げなどは夢のまた夢。企業を倒産させる覚悟で賃上げしなければならず、その先は家族が路頭に迷うのみです**【資源回収】**
- 値上げ値上げでかなり厳しい**【自動車修理】**
- 水道光熱費から始まり、食材の仕入れも何もかもが値上がりラッシュで、メニュー価格の見直しをしたばかりなのにこの状態で続けていけるのか不安で仕方ない。外食店が値上げするのは仕方ないと顧客も理解してはくれているものの、実際、顧客の購買意欲はかなり低くなっていると感じる。
- しかし、今は低価格競争の時代ではないと思うので、良いものを本当に満足して食してもらい、価格にも納得して来てもらえる店でないといけないと感じる。
- コロナ自粛モードはだいぶ緩んでは来たが、まだまだコロナ前の年末の来客数には及ばない。ただ、テイクアウトの方もすっかり定着してきたので、今後もイートインとテイクアウトの二足の草鞋でうまく凌いでいきたい**【飲食店】**
- 燃料費、仕入れ高騰による利益下げの改善見通しがたたない**【飲食店】**
- 景況感としては上向いていると思う。しかし人材の要請があっても人材不足により対応できない状況にある**【人材派遣】**

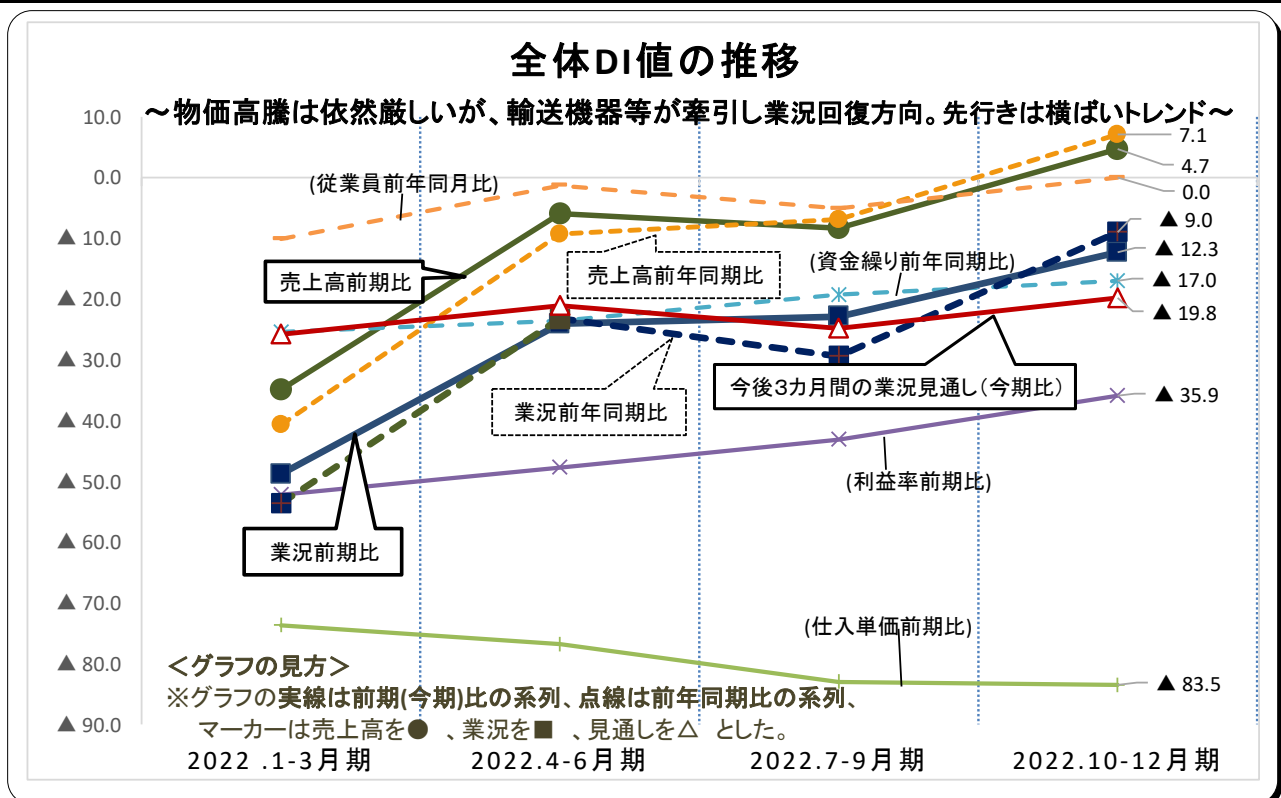
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(7～9月期)	今期(10～12月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 8.3	4.7	13.0
売上高前年同期比	▲ 6.9	7.1	14.0
仕入単価前期比	▲ 83.0	▲ 83.5	▲ 0.5
利益率前期比	▲ 43.1	▲ 35.9	7.2
資金繰り前年同期比	▲ 19.3	▲ 17.0	2.3
従業員前年同期比	▲ 5.1	0.0	5.1
業況前期比	▲ 22.9	▲ 12.3	10.6
業況前年同期比	▲ 29.4	▲ 9.0	20.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 24.8	▲ 19.8	5.0

(4) 動向について

- ・当期の全体ベースの売上高DIと業況DIは前期比・前年同期比ともに上昇した。輸送機器では全てのDIが上昇した一方で、小売業は商品値上により売上増かつ仕入価格上昇により利益率低下となった。
- ・仕入価格DIは▲83.5の超低水準かつ前期比で10期連続の低下(価格上昇)と、依然厳しい状況が続く。但し、前期比悪化は卸売業と小売業のみで、他の業種は「横ばい」の比率がやや増加した。
- ・今後3ヵ月間の業況見通しについては、その他製造業を除く全業種で今期比改善を予想しているが、上昇幅はわずかで全体のトレンドは横ばい。物価や為替の動向によっては悪化の可能性もある。

全 体 D I 値 の 推 移	2022.1-3月期	2022.4-6月期	2022.7-9月期	2022.10-12月期
売上高前期比	▲ 34.9	▲ 5.9	▲ 8.3	4.7
売上高前年同期比	▲ 40.7	▲ 9.3	▲ 6.9	7.1
仕入単価前期比	▲ 73.7	▲ 76.8	▲ 83.0	▲ 83.5
利益率前期比	▲ 52.2	▲ 47.7	▲ 43.1	▲ 35.9
資金繰り前年同期比	▲ 25.4	▲ 23.6	▲ 19.3	▲ 17.0
従業員前年同期比	▲ 10.1	▲ 1.3	▲ 5.1	0.0
業況前期比	▲ 48.8	▲ 24.1	▲ 22.9	▲ 12.3
業況前年同期比	▲ 53.6	▲ 23.2	▲ 29.4	▲ 9.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 25.8	▲ 21.1	▲ 24.8	▲ 19.8



(5)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	11.1	▲ 11.0	－	－
建設業	▲ 7.3	▲ 15.6	－	－
卸売業	5.0	▲ 16.7	－	－
小売業	17.2	▲ 22.9	－	－
サービス業	▲ 2.0	▲ 15.6	－	－
全 体	4.7	▲ 16.4	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	19.4	－	6.2	4.2
建設業	▲ 7.3	－	▲ 16.9	3.5
卸売業	20.0	－	3.0	
小売業	0.0	－	▲ 14.8	
サービス業	0.0	－	11.6	3.7
全 体	7.1	－	▲ 0.9	

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 84.7	－	▲ 82.2	－
建設業	▲ 87.8	－	▲ 85.1	－
卸売業	▲ 100.0	－	▲ 72.9	－
小売業	▲ 96.6	－	▲ 73.6	－
サービス業	▲ 64.0	－	▲ 66.5	－
全 体	▲ 83.5	－	▲ 75.7	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 33.3	▲ 28.3	▲ 27.1	▲ 11.6
建設業	▲ 31.7	▲ 33.7	▲ 32.8	▲ 2.6
卸売業	▲ 10.0	▲ 21.4	▲ 20.8	
小売業	▲ 62.1	▲ 37.1	▲ 30.0	
サービス業	▲ 38.0	▲ 30.1	▲ 12.8	▲ 5.1
全 体	▲ 35.9	▲ 31.3	▲ 24.2	

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 12.5	▲ 16.5	▲ 17.2	7.0
建設業	▲ 7.3	▲ 9.5	▲ 9.7	12.0
卸売業	▲ 15.0	▲ 15.9	▲ 13.4	
小売業	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 24.6	
サービス業	▲ 22.0	▲ 22.1	▲ 15.9	10.0
全 体	▲ 17.0	▲ 19.6	▲ 16.7	

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 2.8	▲ 3.7	－	－
建設業	7.3	▲ 4.0	－	－
卸売業	5.0	▲ 3.4	－	－
小売業	6.9	▲ 2.6	－	－
サービス業	▲ 8.0	▲ 4.6	－	－
全 体	0.0	▲ 3.7	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 9.7	▲ 19.2	－	▲ 2.0
建設業	▲ 9.8	▲ 15.8	－	11.0
卸売業	▲ 10.0	▲ 21.3	－	7.0
小売業	▲ 31.0	▲ 31.0	－	▲ 6.0
サービス業	▲ 8.0	▲ 23.0	－	2.0
全 体	▲ 12.3	▲ 22.9	－	4.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

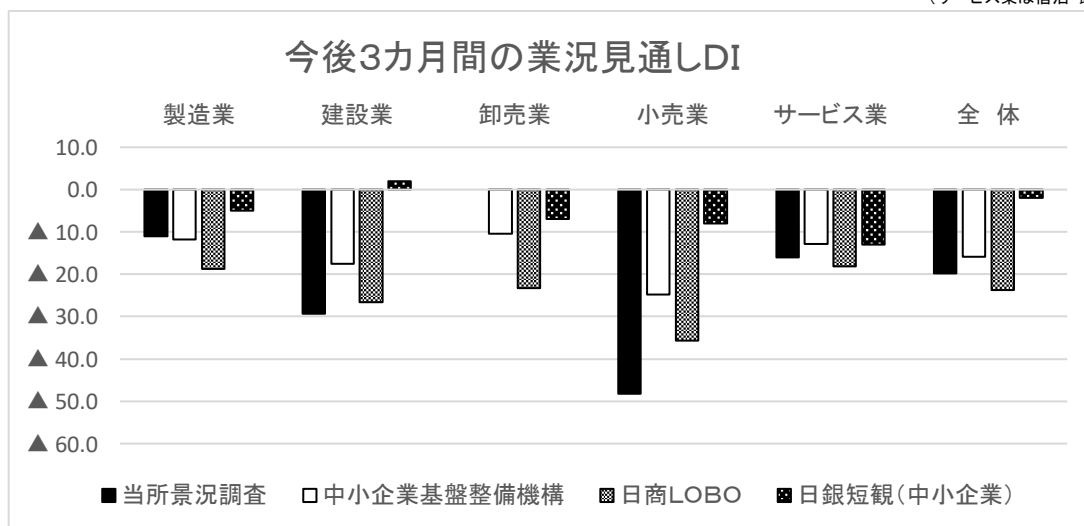
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 2.8	－	▲ 16.8	－
建設業	▲ 9.8	－	▲ 26.7	－
卸売業	▲ 10.0	－	▲ 19.2	－
小売業	▲ 37.9	－	▲ 28.5	－
サービス業	0.0	－	▲ 6.5	－
全 体	▲ 9.0	－	▲ 18.5	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 11.1	▲ 11.8	▲ 18.7	▲ 5.0
建設業	▲ 29.3	▲ 17.5	▲ 26.6	2.0
卸売業	0.0	▲ 10.4	▲ 23.3	▲ 7.0
小売業	▲ 48.3	▲ 24.8	▲ 35.6	▲ 8.0
サービス業	▲ 16.0	▲ 12.8	▲ 18.1	▲ 13.0
全 体	▲ 19.8	▲ 15.8	▲ 23.8	▲ 2.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2023年（令和5年）1月26日 発行